

# 平成22年度 日野市行政評価システム市民評価結果一覧表の見方

事務事業名 ①	実施内容(概要)	所管部署	開始年度 元号 年数	評価区分 ②	評価I										
					③ 必要性・有用性			④ 効率性・安定性			⑤ 今後の方向性				
					各項目点	評点	評価	各項目点	評点	評価	合計評点	判断	コメント		
1	インターネット・ホームページ関係経費(ホームページの維持・管理事業)  市民に市のホームページを通じ、市の施策・制度等を周知している。そのホームページが利用者に安全かつ快適に利用されるようデータの維持管理及びシステム保守を行う。 ・ホームページのデータの情報更新や修正 ・ホームページのシステム維持管理・保守点検	市長 公室	平成 10	市民	ア)	2	4	中	ア)	1	5	維持・継続	【見直し・改善】 ・今後の課題としてホームページの利用率が全体として18.9%で市の情報リソースはまだまだひの店報の活用が主である。この両者のバランスが今後の課題でありこの利用率を真摯に受け止め、年間2千万円の費用を有効に活用される事を望む。 ・一方、ホームページバナー広告料をもっと有効に活用されることを希望すると同時に、バナー広告料の収入を成果指標として用いても良いのではないかと検討をお願いします。 ・また、高齢者にもホームページを簡単に活用できる仕組み並びにPRをすべきである。		
					イ)	1		イ)	0	小					
					ウ)	1		ウ)	0						
					ア)	2		ア)	1	5				拡大・充実	掲載情報の更新を着実に進め、市民に分かりやすい情報が提供できるように、すぐにも再構築すべき。
					イ)	2		イ)	2						
					ウ)	2		ウ)	2						
				ア)	2	ア)	1	5	拡大・充実	高齢者や障害者も使いやすいホームページとするため、平成21年度に課題であったホームページのアクセシビリティの部分の改善を行ったが、ホームページの利用者の快適性を向上させるユーザビリティの部分の見直しが必要である。					
				イ)	2	イ)	2								
				ウ)	2	ウ)	2								

① 所管課が平成21年度に実施した事務事業のうち、市民評価対象となった52事業の内容を掲載しました。

② 所管部署評価、行財政改革推進本部評価及び公募市民による市民評価(第三者評価)を行いました。

③ 公共性の観点から、事務事業の「必要性・有用性」を評価しました。  
 アイウの項目点を各2点満点とし、合計を評点としています。  
 ア:行政が自らの責任において組み立て、実施すべき事業である。(直営・民間委託等の運営手法の違いは問いません)  
 イ:時代の流れや要請に適切に対応している事業である。  
 ウ:利害関係人以外の一般市民(第三者)も現に必要と認めている事業である。

④ 「手法の効率性・経費の最小性」の観点から事務事業の「効率性」を、また「補助金確保や受益者負担の導入等」の観点から事務事業の「安定性」を評価しました。  
 アイウの項目点を各2点満点とし、合計を評点としています。  
 ア:事業内容の精査や民間委託、競争入札等の手法によって事業費の圧縮に努めている。または、もともと事業費が低廉でコストパフォーマンスが高い。  
 イ:手順や手法等を工夫して実施している。  
 ウ:事業年度(実施期間)及び事業費に見合った特定財源(受益者負担や国都補助金等)を適切に確保している。

③ ④

評点と評価の関係

評点	評価
5点以上	大
3~4点	中
1~2点	小
0点	なし

⑤ 今後の方向性の判断は、③必要性・有用性と④効率性・安定性の評点を合計したもののから判断しました。

「必要性・有用性」「効率性・安定性」の合計評点	判断	今後の方向性
9点以上	拡大・充実	引き続き、推進する
4~8点	維持・継続	当面、維持・継続する(改善・見直し・縮小含む)
3点以下	休止・廃止	数年以内に休止・廃止する(見直し・縮小含む)

判断区分だけでは、言い表しできない部分を「コメント」としています。